



きらきら

京都府立南山城支援学校
小学部だより No11



冬のきらきらタイム



R7年2月25日

まだまだ厳しい寒さが続いています、寒さに負けず子どもたちは元気に学習に取り組んでいます。残りの学校生活も少なくなってきました。進級・卒業に向けて1日1日を大切に過ごしていきましょう。今号は「冬のきらきらタイム」の様子をお伝えします。冬のきらきらタイムでは2学期にも取り組んだペアクラスと室内で一緒に遊ぶ中でより友達との関わりを深めることや、高学年の児童は低学年の児童を優しくリードすることをさらにねらいにした活動を楽しみました。

1・8組

日頃行っている朝の運動の活動を一緒に行いました。互い初めて知るダンスやリトミックがあり、新鮮な気持ちで取り組みました。低学年と高学年がペアでする活動では、互いのことを意識してにこやかにボールを運びました。



2・7組



互いの日頃からの学習を一緒に取り組みました。友達の姿を真似てダンスしたり、ペースを合わせて一緒にボールを運んだりする姿、上級生からの積極的な関わりや、関わりを受け入れて笑顔で楽しむ姿等、一年間の成長や友情が育まれた様子が見られました。

3・6組

低学年と高学年でペアになり、布を使って箱を運んで積み上げ、箱倒しをしました。箱運びでは、落とさないように歩くペースや布を持つ高さを合わせて取り組むことができました。



4・5組

日頃から取り組んでいるダンスや島わたり鬼ごっこを一緒に行いました。馴染みのある活動だと安心でき、友達同士で名前を呼び合ったり、「またやろうね!」と次回の活動を楽しみにしたりする姿が見られました。

